



【展示内容について】

「蝦夷錦」は、もともと中国江南地方で製作された絹織物で、中国の元・明・清王朝が周辺の諸民族に下賜した官服や反物が、当時「蝦夷地」と呼ばれた北海道を經由して日本国内に持ち込まれたことからこの名がつけられた。

蝦夷錦は、中国本土からアムール川流域を經由して間宮海峡を渡り、北海道にもたらされている。交易の主体となったのはアイヌ民族であり、蝦夷錦の交易ルートは「北のシルクロード」とも称される。今回の展示では、函館大学の中村和之先生による蝦夷錦の最新の研究成果をふまえ、函館市教育委員会の奥野進学芸員の協力により、蝦夷錦をめぐる歴史的な背景を広く紹介する。

令和5年度 宗谷管内巡回展

北のシルクロードと蝦夷錦

炭素14年代測定で明かされた蝦夷錦の制作年代

9/26(火) - 10/24(火)

開庁時間 午前8時30分～午後5時15分
閉庁日 土曜日、日曜日、祝日

観覧無料

最新の情報はこちら
ホームページをご確認ください。



猿払村役場 ロビー

宗谷郡猿払村鬼志別西町172番地1

電話 01635-2-3011
主催 稚内市、枝幸町、利尻富士町、利尻町、礼文町
各教育委員会
主管 宗谷管内学芸職員連絡協議会
協力 市立函館博物館、函館大学・中村和之
後援 北海道開発局稚内開発建設部

